

ゆいまーる共生事業 役員・ボランティアの集い

1月18日(金)、平成24年度ゆいまーる共生事業役員・ボランティアの集いが沖縄残波岬ロイヤルホテルで開催され、約420名が参加しました。

ゆいまーる共生事業では、高齢者を対象とした調理講習会や室内レクリエーション、健康講話などの活動が村内22の字で行われています。

会では、石嶺村長から役員やボランティア27名に、地域の高齢者の生きがいづくりに貢献したとして感謝状が贈られました。

石嶺村長は、「いつも地域福祉に尽力下さりありがとうございます。読谷村は来年1月に日本人口の多い村になる予定です。人口だけでなく、若い世代から高齢者まで元氣な村民が多い村となれるよう、これから

もご協力宜しくお願ひします。」と感謝の言葉を述べました。



知花和子さん 母子保健大会で大会長賞を受賞



母子保健推進員の知花和子さん(儀間)が、1月に行われた第46回沖縄県母子保健大会で大会長賞を受賞し、報告のため石嶺村長を表彰しました。

知花さんは平成2年から本村の母子保健推進員として、乳幼児健診や教室への協力、世帯への訪問など地域の子育て支援事業に貢献、今回の受賞となりました。

知花さんは、「母子保健と聞く大変そうですが、自分の子育ての延長線上にある活動として気負わずにやってきました。今では活動が生活の一部になっていますが、賞をいただけて晴れがましい気持ちです。これから頑張ります。」と受賞の感想を語りました。

確定申告の時期です。 便利でお得なe-taxのご利用を!

2月1日(金)、役場村民ホールにてe-tax開設式が行われました。e-taxとは、窓口や税務署に行かずにインターネットで確定申告をする申告・納税システムです。開設式では、本村在住のタレント高見知佳さんをお招きして、実際にe-taxを利用して確定申告を行っていただきました。

高見さんは、「パソコン操作も得意でない私がe-taxで申告なんて大丈夫かと心配しましたが、意外にもスムーズに出来ました。思い込みで出来ないと思うのではなく、まずやってみることが大切です。声かけ一つで利用者は増えると思いますので、皆さんも自身だけでなく周りの人にもe-taxの利用を呼びかけてみてください。」と挨拶しました。

e-taxは役場1階村民ホールに3月15日まで設置されています。利用してみたいという方は税務課までお問い合わせ下さい。



はじめての介護教室



1月23日(水)、読谷村総合福祉センターにてはじめての介護教室(主催:読谷村社会福祉協議会)が行われました。これは、介護をしていく上で必要な知識・技術を提供し、村民の介護への意識向上をはかる目的で開催されました。

教室では、専用の眼鏡や重りのついたサポーターなど、高齢者疑似体験セットを使用し、年を重ねると身体はどうなるのか、理解を深める内容となりました。

講師の沖縄県介護実習普及センターの又吉ちさ氏は、「身体が元氣なうちでは分からない事がたくさんあります。高齢者の身体がどうなっていくのか理解できれば、介護する側の精神的負担も軽くなる。」と体験プログラムの重要性を語りました。

受講者からは、「疑似体験セットを使うと、想像以上に文字や色が見づらく、音も小さくしか聞こえなかった。体験しないと分からない事はばかりで勉強になった。」との感想がありがとうございました。

人権擁護委員の委嘱

大城勝一氏(高志保出身)が、平成25年1月1日付け法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けました。人権擁護委員は、地域の皆さんからの人権に関する相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済をしたり、地域の皆さんが人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。

読谷村でも、年4回、特設人権困りごと相談所を開設し、読谷村の人権擁護委員が、相談や啓発活動を行っています。大城氏は平成15年より読谷村の人権擁護委員として活動されており、今回は再委嘱となります。

